

日本留学フェア 2026（ボツワナ）及び関連オンラインイベント

参加大学向け FAQ

1. 参加申込について

Q1. 1大学から複数の学部・研究科・プログラムが参加を希望する場合、申込はどのように行えばよいですか。

A. 原則として、1大学につき1件の申込をお願いいたします。複数の学部・研究科・プログラムの参加を希望される場合は、可能な範囲で取りまとめのうえ、フォーム内でその旨を記載ください。

Q2. 学部・研究科単独での参加は可能ですか。

A. 可能です。ただし、同一大学内で他部局も参加を希望している場合は、できる限り学内で情報共有のうえ、合同でお申込みください。

Q3. 対面フェアとオンラインイベントの両方に参加することはできますか。

A. 可能です。共通の申込フォームにて、参加を希望するイベント及び参加形態をご登録いただきます。

Q4. 申込締切後の相談は可能ですか。

A. 原則として締切までのお申込みをお願いいたします。ただし、状況により可能な範囲で調整いたしますので、まず事務局までご相談ください。

2. 参加形態について

Q5. 参加形態にはどのような種類がありますか

A. 主に以下を想定しています。

- ・ 対面参加
- ・ オンライン参加
- ・ 資料参加
- ・ 上記の組合せ

Q6. 対面参加とオンライン参加を組み合わせることは可能ですか。

A. 可能です。たとえば、対面フェアには資料参加とし、オンラインイベントには発表参加する、といった組合せも可能です。

Q7. 資料参加のみでも参加できますか。

A. 可能です。英語版パンフレット、プログラム紹介資料、QRコード付き案内等をご提供いただければ、会場での配布又は展示に活用します。

Q8. オンライン参加はすべてのイベントで可能ですか。

A. イベントにより異なります。オンライン説明会ではオンライン参加を前提としますが、対面ブース型フェアでは、資料参加又は動画活用をお願いする場合があります。詳細は各イベントの案内でお知らせします。

3. 費用について

Q9. 参加費はかかりますか。

A. 参加料は無料です。

Q10. 現地交通費は誰が負担しますか。

A. 主催側が指定する現地移動に係る交通費は、主催側で負担する予定です。詳細は参加確定後にご案内します。

Q11. 渡航費・宿泊費・食費は大学負担ですか。

A. はい。渡航費、宿泊費及び食費は原則として各参加機関負担となります。

Q12. 資料、バナー、ノベルティ等の輸送費は誰が負担しますか。

A. 原則として各参加機関負担となります。

Q13. 高校訪問や追加プログラムがある場合、費用はどうなりますか。

A. 内容に応じて個別調整となります。別途費用負担が生じる場合は、事前にご案内します。

4. 参加機関にご準備いただきたい内容

Q14. 参加大学は何を準備すればよいですか。

A. 可能な範囲で、以下のような資料のご準備を推奨します。

- ・英語版パンフレット
- ・英語で学べる課程一覧
- ・学部・大学院別情報
- ・専攻分野が分かる資料
- ・奨学金・授業料情報
- ・出願方法及び必要書類の概要
- ・問い合わせ先
- ・QR コード付き Web ページ
- ・大学紹介動画

Q15. 学生に伝わりやすい資料とは、どのようなものですか。

A. 以下が一目で分かる資料が効果的です。

- ・何が学べるか
- ・英語で学べるか
- ・学部か大学院か
- ・奨学金があるか
- ・卒業後の進路
- ・出願時期
- ・問い合わせ先

Q16. 事務局に事前共有しておくといよい情報はありますか。

A. 以下の情報を事前共有いただくと、来場者を適切に案内しやすくなります。

- ・大学の強み
- ・代表的な専攻分野
- ・英語で学べる課程
- ・学部／大学院の別
- ・奨学金情報
- ・留学生支援
- ・問い合わせ先

昨年度の報告でも、各大学の強み、代表分野、英語課程を事前共有し、関係者全員が案内できる体制の重要性が課題として整理されています。

5. 説明会・発表内容について

Q17. 説明会やオンラインイベントでは、どのような内容を話せばよいですか。

A. 以下のような内容を中心に、簡潔かつ分かりやすくご説明ください。

- ・何を学べるか
- ・どのような研究ができるか
- ・英語で学べるプログラムの有無
- ・大学・学部・研究科の強み
- ・学生生活
- ・奨学金
- ・出願方法の概要
- ・卒業後の進路

日本留学の魅力や日本での学生生活概要については本事業から紹介させていただきますので、大学固有の魅力について発信してくださると効果的です。

Q18. 発表では何を最も重視すべきですか。

A. 細かな制度説明をすべて盛り込むよりも、学生が「自分もここで学べそうだ」と具体的に想像できることを重視してください。

Q19. 留学経験者の体験談は効果がありますか。

A. 非常に有効です。昨年度も、大学紹介に加えて留学経験者の体験談が特に好評で、参加者の関心喚起に大きく寄与しました。

6. ブース・対面フェアについて

Q20. 対面フェアのブースでは何を行いますか。

A. 主に以下を想定しています。

- ・個別相談
- ・資料配布
- ・大学・プログラム紹介
- ・必要に応じた動画上映
- ・Web サイトや問い合わせ先への誘導

Q21. ブースではどのような質問が多いですか。

A. これまでの実績では、以下の質問が特に多く見られました。

- ・英語で学べるプログラムはあるか
- ・自分の専攻分野に合う課程があるか
- ・奨学金や授業料減免はあるか
- ・大学院進学は可能か
- ・交換留学や短期プログラムはあるか
- ・卒業後の進路につながるか

昨年度は、英語課程の有無及び具体的に何が学べるかへの関心が特に高いことが確認されています。

Q22. 奨学金に関する質問が最も多いですか。

A. 奨学金への関心は非常に高いですが、対面フェアでは、奨学金そのものよりも、どのようなプログラムを学べるか、英語で履修できるかへの質問が多い傾向があります。

Q23. ブース装飾ほどの程度必要ですか。

A. 大掛かりな装飾は必須ではありませんが、大学名、主な専攻分野、英語課程の有無が一目で分かる表示を推奨します。昨年度も、見やすい装飾や表示の必要性が課題として整理されています。

7. 高校生向けフェアについて

Q24. 高校生向けには、どのような情報が有効ですか。

A. 以下の情報が特に重要です。

- ・英語で学位取得が可能か
- ・学部留学の出願方法
- ・授業料及び生活費
- ・学生寮の有無
- ・奨学金
- ・キャンパスライフ
- ・保護者が安心できる支援体制

日本留学の魅力や日本での学生生活概要については本事業から紹介させていただきますので、大学固有の魅力について発信してくださると効果的です。昨年度の高校向けアウトリーチでも、英語で学位取得できるかに対する関心が非常に高く見られました。

Q25. 高校生向けには、大学院資料も配布できますか。

A. 配布自体は可能ですが、効果の面では、学部課程、英語プログラム、奨学金、生活情報を優先した資料が望ましいです。

Q26. 高校向けでは体験型企画は有効ですか。

A. 有効です。昨年度は、折り紙、けん玉、箸を使ったゲーム等の体験型要素が、生徒の関心喚起に役立ちました。

8. オンラインイベントについて

Q27. 今年度予定されているオンラインイベントには何がありますか。

A. 以下を予定しています。

- ・ *Study in Japan Online Session for Graduate Programs* (オンライン説明会・大学院)
- ・ *Study in Japan Online Session for Undergraduate Programs* (オンライン説明会・学部)
- ・ *Study in Japan Online Fair 2026* (日本留学オンラインフェア 2026)

日程及び詳細は、各募集案内にてご案内します。

Q28. オンラインイベントでは、どのような参加が可能ですか。

A. イベントにより異なりますが、オンライン発表、録画動画の活用、資料参加等を想定しています。

Q29. 対面フェアに参加しない大学でも、オンラインイベントに参加できますか。

A. 可能です。対面参加が難しい大学にも情報発信の機会としてご活用いただけます。

9. アンケート・フォローアップについて

Q30. 参加学生へのアンケートは実施しますか。

A. 原則として実施予定です。所属、学年、希望専攻、学部・大学院志望、奨学金希望の有無、質問事項等を把握し、今後の広報及びマッチングに活用します。

Q31. 学生から特定大学への質問があった場合、共有されますか。

A. 必要に応じて共有します。個別相談希望がある場合は、当該大学へご連絡する予定です。

Q32. イベント後に報告書は共有されますか。

A. 共有予定です。実施概要、参加者数、学生の関心分野、質問傾向、成果及び課題等を整理してご報告します。

10. 広報・写真について

Q33. 大学側で本イベントを広報してもよいですか。

A. 可能です。大学 Web サイト、ニュースレター、SNS 等での広報を歓迎します。必要に応じて案内文や画像データを共有します。

Q34. 当日の写真は共有されますか。

A. 可能な範囲で共有します。ただし、参加者の写り込み等については、現地での許可及び個人情報保護に配慮して取り扱います。

Q35. 大学側で写真や報告内容を学内共有してもよいですか。

A. 原則として可能です。外部公開を予定する場合は、事前に事務局へご相談ください。

11. お問い合わせについて

Q36. お問い合わせ先はどこですか。

A. 以下までお願いいたします。

国立大学法人秋田大学 未来人材共創機構

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（アフリカ（サブサハラ）地域）

E-mail : africa@jimu.akita-u.ac.jp